

# あげお 議会だより



笑顔で踊る子どもたち  
(児童館こどもの城落成記念イベントで)

## 平成18年9月定例会日程

- 9月1日.....開会、議案の上程  
提出議案の説明、監査報告
- 9月5日.....議案に対する質疑、決算特別委員会の設置、委員会付託
- 9月6日.....総務・建設水道常任委員会
- 9月7日.....文教経済・福祉消防常任委員会
- 9月11日.....一般質問
- 9月12日.....一般質問
- 9月13日.....一般質問
- 9月14日.....一般質問
- 9月20日.....委員長報告、討論、採決  
議案第109号の上程、説明、採決、議員提出議案の上程、採決、閉会

## 主な内容

市長の提案説明.....	2 ~ 3 P
委員会の主な審査内容・討論.....	3 ~ 5 P
請願の結果.....	4 P
今議会で決まった人事.....	5 P
提出議案とその結果.....	6 P
市政に対する一般質問.....	7 ~ 11P
委員会活動、意見書、傍聴席からひとこと.....	12P

## 9月定例会

文化センター改修工事などを含む一般会計補正予算  
児童館条例の一部改正など32議案を可決・同意

9月定例会最終日採決の様子

9月定例会で審議した議案は、市長提出議案が35件、議員提出議案が7件の計42件で、決算認定議案の8件を除く32件を可決・同意し、2件を否決しました。

## 市長の提案説明から

## 上尾市一般会計補正予算

今回の補正につきましては繰越財源が確保できたことに伴い、それぞれ事業費を追加して計上したほか、新たな施策経費や事業費を計上しました。

その結果、補正額は7億3,468万9,000円となり、累計予算額は492億6,887万6,000円となりました。

主な歳出は、**総務事業**では、学区内に児童保育所のない西小学校の校舎内に、定員50人程度の「(仮称)西小放課後児童クラブ」を新設する経費のほか、老朽化した文化センター大ホールの天井を全面改修し、併せて天井裏にある吹き付け石綿を撤去するための経費を新たに計上しました。

**福祉事業**では、障害者自立支援



9月定例会市長の議案説明

法に基づき、本年10月から開始される地域生活支援事業の相談支援に係る補助金や計画作成費用を新たに計上したほか、上尾市次世代育成支援行動計画に基づき、待機児童の解消を目的として次世代育成支援対策施設交付金の対象となる民間保育所2園に対する施設整備補助金を新たに計上しました。

**衛生事業**では、本年10月から埼玉県が実施する、小児の夜間診療に係る救急医療体制である「埼玉県中央地区小児二次救急医療体制」整備に係る負担金や、これを補完するための上尾市医師会休日診療所の業務拡大に伴う経費を新たに計上しました。

**農林水産事業**では、土地改良事業により設置された揚水機改修に係る補助金を新たに計上しました。

**土木事業**では、道路改良や道路清掃、排水路改良のための経費を増額計上したほか、都市公園の整



小学校に設置されている防犯カメラ

備・改修に係る経費を増額計上しました。

消防事業では、市民の土地を借り受けて市が設置した公設の防火水槽を撤去する経費や、消火栓の修繕に伴う負担金を増額計上いたしました。

教育事業では、給食用エレベーターや受水槽の改修、防犯カメラの設置など児童・生徒の更なる安全の確保を図るため、小・中学校校舎などの営繕工事に係る維持補修費を増額計上しました。なお、この補正で小学校全校に防犯カメラが設置されることとなります。

以上が主な歳出ですが、これを賄う財源として、国・県支出金、繰越金、市債を見込みました。

**条例その他**

上尾市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定については、市の機関に係る申請、届出その他の手続等に関し、

電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法により行うことができるようにするための共通する事項を定めたいので提案するものです。

上尾市住民基本台帳の閲覧等に関する条例を廃止する条例の制定については、住民基本台帳法の一部改正により、住民基本台帳の一部の写しの閲覧の制度が、住民に関する記録の適正な管理を図る観点から整備されたことに伴い、同法と重複することとなる当該条例を廃止したいので提案するものです。

上尾市児童館条例の一部を改正する条例の制定については、児童の健全育成を図るため、上尾市児童館こども城を設置することともに、児童館の体育遊戯室及び音楽室の使用料に関する規定を定めるほか、休館日及び利用時間に関する事項を条例で定める等の所要の規定の整備を行いたいので提案するものです。

上尾市重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定については、障害者自立支援法の施行により、障害児施設入所者に対する医療費の公費負担が廃止され、指定知的障害児施設等の入所者に対して本条例の規定に基づき医療費の一部が支給されるようになることから、当該指定知的障害児施設等の入所者に係る居住地特例の規定を新たに定める等の所要の規定の整備を行いたいので提案するものです。

案するものです。

上尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定については、健康保険法の一部改正に準じて出産育児一時金の額を引き上げるとともに、本市における子育て支援策の一環として、第2子以降の出産に係る支給額については子育て家庭に配慮した額を新たに定めるほか、葬祭費の支給額を改めたいので提案するものです。

**委員会審査から**

総務、文教経済、建設水道、福祉消防の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

**総務常任委員会**

**補正予算  
文化センター大ホール  
の天井を改修**

予算メモ 築後40年近く経過した文化センターの大ホール天井の全面改修と、天井裏にある吹き付け石綿の全面撤去を行うための経費を計上。

委員 文化センターの施設工事の改修費1億円の内訳を伺いたい。  
答 足場の敷設、養生工事、石綿の除去工事、石綿の産業廃

棄物処理、復旧、電気工事などである。

委員 去年のアスベスト調査の時には、健康被害になるようなものではないと報告があったが、なぜ今回アスベストの除去が計上されているのか伺いたい。

答 天井の改修は老朽化していることから、全面改修が必要である。今回起債も活用できることから、より安全を求めるといふことで石綿除去工事も合わせて実施するものである。

**条例制定  
市の申請、届出で  
情報通信技術を利用  
するために**

上尾市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定

この条例は、市の機関に係る申請、届出その他の手続等に関し、電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法により行うことができるようにするための共通する事項を定めるため制定するものです。

委員 電子申請システムを使って申請をしようと思ったら、何が必要で、どういう経費が掛かるのか伺いたい。

答 まず、インターネットに接続できるパソコンが必要である。電子署名が必要な手続きには、ICカードと電子証明書が必要で、それぞれ取得に500円掛か

る。他に、ICカードを読み込ませるICカードリーダーが必要で、これは電気店で一般的に3,000円程度である。

**条例制定  
児童館こども城に  
関する規定を整備**

上尾市児童館条例の一部を改正する条例の制定

この条例は、児童の健全育成を図るため、上尾市児童館こども城を設置するとともに、児童館の体育遊戯室及び音楽室の使用料に関する規定を定めるほか、休館日及び利用時間に関する事項を条例で定める等の所要の規定の整備を行うものです。

委員 児童館こども城は、使用料を徴収するのは音楽室と体育遊戯室だが、児童以外でも開放されるものなのか伺いたい。

答 児童以外の利用については、体育遊戯室は9時から18時まででは誰でも無料で使え、夜間は有料で使える。音楽室は全日有料で使える。使用する優先順位は、児童、児童健全育成団体、一般の方と考えている。

**文教経済常任委員会**

**補正予算  
小学校全校への防犯  
カメラ設置を完了**

予算メモ 小学校の老朽化した

受水槽の更新や地中埋設消火管の交換、給食用エレベーターの修繕、防犯カメラのなかつた学校への設置などに係る経費を計上。

委員 小学校営繕工事の中の、防犯カメラ設置の金額と契約方式を伺いたい。

答 1校当たり平均で70万円から80万円と見込まれる。このことから、随意契約としたい。

委員 学校内のような場所に設置するのか伺いたい。

答 おおむね1校に4基ほどのカメラを、昇降口や先生の目が行き届かない場所に設置していきたい。

### 補正予算 市民体育館の 雨漏りを補修

予算メモ 老朽化により小雨でも雨漏りする状況となった市民体育館の、アリーナ部分と管理棟部分の屋上防水工事のための経費を計上。

委員 市民体育館の雨漏り補修の整備面積を伺いたい。

答 アリーナ部分が約2,200平方メートル、管理棟部分が約320平方メートル、合わせて約2,520平方メートルとなる。

委員 市民体育館雨漏り補修工事によって、市民の利用に支障は出るのか。

答 現在の防水アスファルトをはがすことなく上に新しい防水

工事を行うことから、休館するよ  
うなことはない。

### 建設水道常任委員会

### 補正予算 丸山公園の菖蒲園や ローラー滑り台を改修



丸山公園の菖蒲園

予算メモ 丸山公園の菖蒲園の改修工事と、児童遊園地に設置してあるコンピネーション遊具の中のローラー滑り台のローラーを一式交換する経費を計上。

委員 丸山公園整備工事費について、菖蒲園の今後の改修計画について伺いたい。

答 改修しなければならぬ菖蒲園の面積は約1,750平方メートルである。今回の補正予算で680平方メートルを改修し、

残りは予算の関係もあるが、できれば来年度で完成したい。

委員 菖蒲の花が、このごろ少

なくなっているように見える。予算もたくさん使っているの、実のあるものになるような工事方法で市民に還元できるような形にしたい。

委員 丸山公園のローラー滑り台について、軸が細くなって危ないとのことだが、工事までの間、どういう対応を取るのか。

答 7月に公園遊具の点検をした際に、ローラー滑り台の軸が非常に細くなっており危険だということで、緊急に落下防止用ネットをローラー滑り台の下に取り付けた。

### 補正予算 中山道東側地区第一 種市街地再開発事業 へ補助金を交付

予算メモ 中山道東側地区第一種市街地再開発事業の基本設計に係る補助金を計上。

委員 中山道東側地区第一種市街地再開発事業補助金について、県の補助率が6分の1から9分の1になったということだが、このために自動的に市の補助率が増えるのか。また、計画では地下に大きな駐車場があるが、道路対策を含めて設計するのか。

答 相対的な補助率については、補助対象事業費の3分の1が国からの補助、3分の1が県と市の補助、残りの3分の1が組合の事業費という割合になっている。そして国の補助率に

ついては、「最高で3分の1、なおかつ県と市の補助率まで」というシステムになっている。例えば県の補助が下がったままだと国の補助も下がってしまうという現象になるので、国から最高の補助金額を受けるため県の下がった分を市がカバーするものである。

道路対策については、公安委員会などと相談しながら車の出入りについては今後検討することになっている。現在計画している案では、商業または業務系に関しては中山道から入り、開発地東側の一方通行から出て行く。住宅系については一方通行から入って一方通行から出て行くという流れを計画している。

いずれにしても建物が最終的に決まっていらないので、決まり次第、県の公安委員会などと協議しながら決定し、信号の調整も必要に応じてお願いするような形になると思っています。

### 福祉消防常任委員会

### 補正予算 休日診療所の薬局と 受付カウンターを 拡張

予算メモ 休日診療所の薬局ならびに受付カウンターの拡張工事のための経費を計上。

委員 薬局と受付カウンター拡張工事の作業予定を伺いたい。

答 夜間診療も始まることか

### 請願の結果

市民の皆さんから提出された請願は、委員会審査を経て9月20日の本会議で採決し、1件を採択しました。

#### 採択された請願

公共工事における建設労働者の適正な労働条件確保に関する意見書の提出についての請願  
上尾市大字平塚字荒井1606番地1  
代表者 建設埼玉上尾伊奈地区本部  
執行委員長 須永三郎



休日診療所の受付カウンター

ら、当初予算で設置することとなっている隔離室を先に整備し、その中に仮設の薬局と受付カウンターを移設したのち、平成19年1月から2月にかけて拡張工事を行う。

条例制定

### 国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法の一部改正に準じて出産育児一時金を引き上げるとともに、本市における子育て支援策の一環として、第2子以降の出産に係る支給額については子育て家庭に配慮した額を新たに定めるほか、葬祭費の支給額を改めるものです。

委員 最近の離婚状況などを見るとさまざまな扶養形態が考えられるが、出産育児一時金が50万円の支給対象となる第2子以降であることの確認方法を伺いたい。

答 提出書類として住民票や戸籍などで確認する。

委員 出産育児一時金の申請方

上尾市議会では9月定例会で決議1件を可決しました。

## 決議

### 老朽化が激しい学校の早急な建て替えを求める決議

学校は、子どもたちの日常生活の場であるとともに、地域住民の避難所としても大きな役割を果たす施設である。戦後未曾有の被害をもたらした阪神・淡路大震災の最大の教訓の一つは、人命を守るためには既存の建物の耐震性を強化することだった。

現在、上尾市には、建て替えをしなければならない学校が3校（上尾中、富士見小、中央小）あり、いずれも築40年以上たっている。文部科学省の学校施設の建て替え基準である耐力度調査の値を下回っており、早急な改築工事が必要である。

よって、上尾市議会として改築が必要な学校の施設整備を早急に行うことを求め決議する。

平成18年9月20日 上尾市議会

法の今後の取り組みについて見解を伺いたい。

答 出産育児一時金の申請方法については、負担軽減を図るため医療機関の受け取り代理事業という形で、本人が払わなくても医療機関から市町村へ請求する制度が国によって示されたことから、医療機関との調整など条件が整いつつ次第実施していきたい。

条例制定

### 重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例

障害者自立支援法の施行により、障害児施設入所者に対する医療費の公費負担が廃止され、指定制の障害児施設などの入所者に対して本条例の規定に基づき医療費の一部が支給されるようになること

ことから、当該指定知的障害児施設などの入所者に係る居住地特例の規定を新たに定めるなどの所要の規定を整備するものです。

委員 一部負担金に係る定義から生活療養に係る標準負担額を除外することであるが、療養病床に入院する70歳以上の人の負担はどのように変わるのか。

答 これまで70歳以上の療養病床に入院している人の場合、1日一般世帯780円の負担であったが、食事負担額として、1食460円で日額1,380円と居住費の一部として320円を加え1,700円の負担となる。

委員 この一部負担金に係る定義の変更は、結果として負担が増えることとなる。今後の補助支給の改正の予定について伺いたい。

答 70歳以上と70歳以下で本人負担額が違うこととなるので、バランスを考慮しながら早急に判断し、条例改正の必要があれば提案していきたい。

### 今議会で決まった人事

教育委員会委員に

岡野 栄二氏

教育委員会委員 浅見勲氏の任期が平成18年9月30日で満了となるため、後任として岡野栄二氏を任命することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

岡野 栄二氏 / 58歳

### 決算特別委員会を設置

議会では、委員8人で構成する決算特別委員会を設置し、平成17年度各会計歳入歳出決算認定議案8件を閉会中の継続審議としました。

委員会では、予算の執行状況などを審査し、結果は12月定例会で報告することとしました。

- 委員長 田中 守(新政クラブ)
- 副委員長 谷澤公彦(市民民主クラブ)
- 委員 橋北富雄(公明党)
- 委員 平野佳洋(新政クラブ)
- 委員 鴨田幸子(公明党)
- 委員 矢部勝巳(新政クラブ)
- 委員 黒須喜好(未来の会)
- 委員 森島岐代子(共産党)

住所は春日部市備後東二丁目14番21号

### 反対討論

#### 要旨

一般会計補正予算に、次の点で反対する。

中山道東側地区第一種市街地再開発事業について、住民の皆さんから、地上28階のビルが建設されることにより東口駅前全体の景観が損なわれ、交通渋滞が予想される。また、1万2,000平方メートルもの商業・業務用のスペースは地元商店街との競合が懸念され、風害などの心配の声も寄せられている。

児童館条例の一部を改正する条例の制定について、次の点で反対する。

児童館こども館を設置することには大いに賛成するが、体育遊戯室や音楽室について児童以外のものから2,000円から2,600

0円の使用料を徴収する有料化には賛成できない。

重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について、次の点で反対する。

一部負担金について、療養病床に入院する70歳以上の方の負担金が、これまで1日780円だったものが1,700円になることから負担増となる。

上尾市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について、及び上尾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について、次の点で反対する。

この改正は、市職員の病欠休暇や給料補償の制限が厳しくなるという規定であるが、公務員の労働条件は民間企業に反映されることから、民間の労働条件が悪化している現在、公務員の労働条件を下げるべきではない。

## 平成18年9月定例会提出議案とその結果

## 市長提出議案（27件）

= 賛成 × = 反対

= 賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	市民	公明	未来	無党派
議案第83号	平成18年度上尾市一般会計補正予算（第2号）	原案可決		×				
議案第84号	平成18年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決						
議案第85号	平成18年度上尾市老人保健特別会計補正予算（第2号）	原案可決						
議案第86号	平成18年度上尾市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決						
議案第87号	平成18年度上尾市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決						
議案第88号	上尾市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について	原案可決						
議案第89号	上尾市住民基本台帳の閲覧等に関する条例を廃止する条例の制定について	原案可決						
議案第90号	上尾市ストーカー行為等の被害者等に係る住民基本台帳の一部の写し等の交付の制限に関する条例の制定について	原案可決						
議案第91号	上尾市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第92号	上尾市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第93号	上尾市職員公務災害見舞金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第94号	上尾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第95号	上尾市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第96号	上尾市租税特別措置法関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第97号	上尾市児童館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決		×				
議案第98号	上尾市立つくし学園条例の制定について	原案可決						
議案第99号	上尾市老人医療費支給条例を廃止する条例の制定について	原案可決						
議案第100号	上尾市重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決		×				
議案第101号	上尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第102号	消防組織法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決						
議案第103号	財産の取得について	原案可決						
議案第104号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について	原案可決						
議案第105号	市道路線の認定について	原案可決						
議案第106号	市道路線の認定について	原案可決						
議案第107号	上尾市乳幼児医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第108号	健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決						
議案第109号	教育委員会委員の任命について	原案同意						

## 議員提出議案（7件）

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	市民	公明	未来	無党派
議第12号議案	ドクターヘリの全国配備へ新法制定を求める意見書	原案可決						
議第13号議案	障害者自立支援法の施行に伴う利用者負担の軽減対策を求める意見書	原案否決	×			×	×	
議第14号議案	障害者自立支援法の施行に伴う利用者負担の軽減対策を求める決議	原案否決	×			×	×	
議第15号議案	地方交付税の制度堅持と総額確保を求める意見書	原案可決						
議第16号議案	老朽化が激しい学校の早急な建て替えを求める決議	原案可決						
議第17号議案	アナログ波停止後も今のテレビもチューナーの取替えて使用できることの周知の徹底を求める意見書	原案可決						
議第18号議案	公共工事における建設労働者の適正な労働条件確保に関する意見書	原案可決						

## 請願（1件）

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	市民	公明	未来	無党派
請願27号	公共工事における建設労働者の適正な労働条件確保に関する意見書の提出についての請願	採 択						

# 市政に対する一般質問

## ここが問題 そこが聞きたい

### 環境・産業

#### 遊休農地解消対策とその基本構想は

業の確立を目指した中核担い手農家の育成、集落農業の組織化、農業生産法人などの設立に向けた支援など、活力ある地域農業の振興と遊休農地の解消に向けた方策を盛り込んだ。

**問** 平成12年の農林業の調査によると全国の遊休農地面積は34万ヘクタールで、過去10年で1・6倍増加している。平成17年9月1日施行の農業経営基盤強化促進法の改正で、遊休農地対策として市町村も基本構想を策定することができる旨の規定がある。そこで遊休農地解消対策と、基本構想について伺いたい。

**答** 遊休農地解消対策は、農地の利用集積制度を積極的に進め、中核担い手農家に農地の集約を図り、限りある資源の活用を支援していきたい。農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想は、おおむね5年ごとに見直ししており、本年9月に見直しを完了した。主な見直しは、自立できる農

#### ごみ行政の現状と課題は

しかし、現段階では、有料化ではなく市民・事業者・行政の三者が一体となり、減量目標を達成できるよう取り組むことが最重要課題との認識で事業を進めている。また、2市1町でごみ処理の広域化について、将来を予測してどのような協力ができるのか、また新規にごみ処理施設の整備を行う場合に、その適正な施設規模や整備時期などについて、基本的方向性を協議・検討している。広域化によるメリットが本当に得られるのか、十分検討し進めていかなければならないと考えている。

**問** 市は今後5年間でごみ減量の目標が達成できなかった場合、ごみ袋の有料化を検討していくとし、一般廃棄物処理基本計画の中でも家庭ごみの一部有料化が必要と記しているがこの意図と意義について、また、昨年から上尾・桶川・伊奈でごみ処理の広域化計画に基づき、第二環境センターの建設について検討会が始まっているが、構想と必要性についても伺いたい。

**答** 家庭ごみの減量を進める中で、その排出量が抑えられないようであれば、家庭ごみの一部有料化を検討する必要がある

9月定例会の一般質問は、9月11・12・13・14日の4日間行われ、20人の議員が登壇し、市政全般55項目にわたって市当局の見解を求めました。また、この4日間で218人の皆さんが議会を傍聴しました。一般質問の主な内容は次のとおりです。

# 教 育

## 2歳児入園特区制度の対応は

**問** 2歳児入園特区制度の全園展開の対応と、10月からスタートする認定子ども園との関係について伺いたい。

**答** 2歳児入園特区制度を導入している他市の状況は、組織運営はクラス編制が2歳児だけのクラスをつくっている園、年少、すなわち3歳児のクラスに2歳児を数人いれている園とがある。保育カリキュラムについては、2歳児保育を行うことから、幼稚園要領に保育指針を加味し、乳児の心身の負担などを考慮しながら、教育的バランスを考慮した保育カリキュラムを作成することが求められている。

2歳児入園制度は、3歳児入園を前倒しして入園を受け入れる形であり、あくまでも幼稚園教育の延長線上の教育ととらえている。一方、認定こども園の2歳児入園は、保育に幼稚園教育を加えた形と幼稚園教育に保育を加えた形の両方が考えられる。市としては、今後2歳児入園特区制度については、国、県及び他市の動向を見ながら、関係各課と協議、研究、検



西貝塚環境センターのごみピット

9月  
定例会の  
一般質問

質問順に掲載（本文の記事は順不同）

- ・ 山村 充
- ・ コミュニティビジネスの育成
- ・ 国勢調査
- ・ 教育行政
- ・ 道路行政・整備
- 田中 元三郎
- ・ 学校現場での諸問題
- ・ 市道の整備問題
- ・ 市の産業育成政策
- 深山 孝
- ・ 子育て支援
- ・ 図書館行政
- 野本 順一
- ・ 夢のある上尾
- 斉藤 隆志
- ・ 教育行政
- ・ 高齢者対策
- ・ 少子化対策
- 橋北 富雄
- ・ 環境問題
- ・ 安心・安全な街づくり対策
- 谷澤 公彦
- ・ 水害対策
- ・ 地域コミュニティ
- 児玉 晋
- ・ ぐるっとくんの充実を求めて
- ・ 子ども達が安心して通える児童保育所の充実を



西小学校の放課後児童クラブ予定スペース

# 子ども達が安心して 通える学童保育所の 充実を

**問** NPOへの一括委託へ向けての進捗状況と課題は何か。また、西小に新設される(仮称)放課後児童クラブが設置されるに至った経緯及び公設公営にするのはなぜか伺いたい。

**答** 学童保育所のあり方や管理運営方法について、プロジェクトチームを設置し、検討を行った結果、基本的な考え方としてすべての学童保育所の合意を得たうえで協議していく。また、父母などの関係者との意思疎通を今後スムーズに行い、早期に方向性を出していただき、それに基づいて協議に参加していただくこと

が、課題であると考えている。

西小に、学童保育所を設置することになった経緯は、学区内になつたため、放課後保育を必要とする場合は西小から約1・5キロメートル離れた今泉小の学区内にある西上尾第一学童保育所へ通所している。このような状況を踏まえ、教育委員会と協議の結果、西小に設置することになった。

市内で初めて学校校舎内施設を転用して実施することや学校側との密接な連携が必要であることから、当面の間公設公営で行いたいと考えている。

## 学力格差対策は

**問** 市独自の学力調査結果において、小・中学校とも学校格差があるように見受けられるが、対策を伺いたい。

**答** 昨年度に引き続き第2回目の小・中学校学力調査を4月に実施したところであるが、市全体としては今年度も小・中学校とも全国平均を上回る状況であった。学校格差については、一言で結論づけることは非常に難しい。学校、学年、学級を単位として原因を究明し、改善に努めていきたい。また、各学校に対して調査結果を踏まえた学力向上プランを作成し、課題と対策を明確にし

て授業の充実に取り組むよう指導、助言をしている。そして学力、規律ある態度、体力の教育に関する三つの達成目標を一層推進するため、今年度から市内の全ての中学校区で推進体制を整えたところである。今後各中学校区において、小学校、中学校の授業を互いに研究し、学力向上プランについても学校間で共通理解と連携を図りながら学力の向上に努めていきたい。

## 議会報告活動として 公共施設の利用は

**問** 議員が行う議会報告活動は、市議会議員の固有の任務であり、市民に対する義務である。市民に開かれた市政運営と市政への関心や理解を深めるために、公民館や人権教育集会所などで議会報告を行えるようにすべきと考えるが市の考えを伺いたい。

**答** 公民館の利用については、社会教育法や教育基本法などに基づいて行っている。また、公民館の教育機関としての立場から、政治的な中立性を保つていく姿勢であると考えている。人権教育集会所については、人権意識を普及して、組織的教育活動を推進するという利用目的が明確に定められた施設であり、市政報告会の利用については大変難しいと考える。

今後施設の利用については、施設を取り巻く状況が多々変化し、環境も多様化していることから、さらに他市の状況を十分に調査研究し、公民館は公民館運営審議会へ諮り、集会所については人権教育集会所運営委員会などで十分な議論をしていただきながら検討していきたい。

## 学童保育所の 大規模化対策は

**問** 市内の学童保育所の実態は、入所者が多く大規模化している。児童数が多いことから安全面の確保が難しい。スペース不足からのストレスや子どもたちの意思の疎通が図りづらくまとまりが悪いなどの問題点が指摘されている。そこで、民間施設の活用について、具体的にどのように進めていくのか伺いたい。

**答** 現在の段階では民間施設を活用し運営を行う具体的な団体などはないが、設置場所、定員、入所基準、指導員の配置などについて検討していきたい。また、現在県内15市の民設民営の放課後児童クラブに対する補助制度などについて調査をしたところである。その結果を参考に、今後の対応については、大規模学童保育所の入所者の状況調査を行い、この調査結果を踏まえ、また

### 糟谷 珠紀

- ・こみ行政の現状と課題
- ・保育の公的責任を守るために

### 伊藤 美佐子

- ・図書館の相互利用
- ・障害者(児)に優しい施策
- ・21世紀を見据えて上尾市の少子化対策

### 道下 文男

- ・地域の諸問題
- ・子どもの安全
- ・遊休農地問題
- ・幼児教育
- ・生活環境問題

### 西村 テル子

- ・公共施設の利用
- ・県営上尾運動公園の移管問題

### 鍵山 節子

- ・上尾市独自の国保税の減免制度創設
- ・医療費窓口払の減免制度の活用を
- ・出産費用の窓口払いをなくすこと

### 平野 佳洋

- ・都市基盤整備
- ・交通環境の整備
- ・防犯パトロール

### 武藤 政春

- ・上尾市の財政問題
- ・時代の変化に対応する諸施策の展開を

### 佐野 昭夫

- ・道路網の拡充



## 福祉・保健

一定の入所基準や定員といった要素を考える中で、保育に欠ける児童が最終的に見込まれる場合には、民間施設を利用した学童保育を行う団体への補助制度などの環境整備を検討していきたい。

### 介護保険制度の充実を

**問** 介護保険制度は見直しのたびに改善されるのではなく、悪化する一方である。

要介護1の人は、これまで車いす、ベッドの福祉用具を介護保険で借りることができたが、10月からこの給付対象から外されることになった。そこで、市としてこの問題についてどのように対応するのが伺いたい。



大谷地区内の介護予防支援事務所

**答** 10月以降法改正により要支援1・2及び要介護1の軽度者への車いす・ベッドの貸与は、一定の例外を除き保険給付の対象外となる。しかし、例外として認定調査の結果、車いすについては日常的に歩行困難な者と判定された場合、またベッドについては日常的に起き上がり、寝返りが困難な者と判断された場合は保険給付の対象となる。

なお、車いすについては、認定調査の結果対象外となった場合でも、主治医の意見書に基づくサード担当会議で認められた場合は対象となる。

いずれにしても、保険給付の対象外になる者に対する対応については、他市の状況の把握に努めるなど検討していきたい。

### 子育て支援の取り組みは

**問** 平成15年7月に次世代育成支援対策推進法が制定された。それを受けて本市でも次世代育成に関するニーズ調査を行い、地域特性を勘案した次世代育成支援行動計画を策定した。そこで、子育て支援策の現状について伺いたい。

**答** 上尾市次世代育成支援行動計画において、子育てと仕事の両立がしやすい環境づくり

や地域における子育て支援のネットワークづくりなどの基本施策を掲げるとともに、平成21年度までに行うべき重要な施策を掲げている。

主な重点事業としては、認可保育所の施設整備の充実として、平成21年度までに私立保育園を5園新設し、公立保育園16カ所、私立保育園9カ所の合計25カ所の整備を目標としている。地域子育て支援事業の充実としては、現在、子育て支援センターが上尾西保育所に1カ所、また子育て支援室が私立の白ばら学園こども家保育園と向山保育園に整備されている。

ファミリーサポートセンター事業については、現在、上尾市社会福祉協議会に運営を委託して実施しているが、7月末現在登録会員は468人でほぼ目標が達成されている。

### 予防治療施設のその後

**問** 『広報あげお』に掲載された予防治療の記事の中から、運動機能向上、栄養改善、口腔機能の向上、認知症の予防の内容と、認知症予防治療の参加料2,300円の根拠を伺いたい。

**答** 運動機能向上、栄養改善、口腔機能の向上については、株式会社コナミスポーツ&ラ

イフに委託し、JR高崎線を挟んで東西それぞれ1カ所ずつで実施する予定である。認知症予防については、株式会社くもん学習療法センターから認知症予防に関するノウハウを提供していただき、市内9カ所の社会福祉法人や医療法人に会場と運営の事務責任者の選任をお願いし、ボランティアの学習パートナーに学習のお手伝いをお願いする。認知症予防治療の参加料の内訳は、くもん学習療法センターで提供する個々の教材費が約1,700円、その他の消耗品が約600円と見込んでいます。

### 高齢者対策に空き店舗を

**問** 市の65歳以上の高齢者は、3万7,039人で全体の16.5パーセントである。そのうち尾山台団地は27.1パーセント、原市団地は24.3パーセント、西上尾第二団地は21.1パーセントとなっている。

団地の高齢化が進み、また景気が悪く団地内の商店街に空き店舗が多くなっているのが現状である。そのような、空き店舗を利用して、近くにお惣菜屋さんがあったり、お年寄りが買い物に来たときにちよつと立ち寄れる憩いの場所やお茶を飲んだり近況を語りあったりできる、だれでも気軽に立ち

・高齢者へのサービス

・**畠山 稔**

・元気な高齢者づくり対策

・学童保育所

・降ひょう被害状況

・障害者自立支援法

・**秋山 かほる**

・介護予防治療のその後

・義務教育におけるいくつかの問題

・2007年度予算編成に向けた基本的な考え方

・業務委託契約

・**遠藤 朝子**

・平和

・安心して暮らせる障害者施策を

・介護保険制度の充実を

・**森島 岐代子**

・上尾市行政改革大綱、行政

改革実施計画

・小泉構造改革が市民生活に与える影響

・高齢者対策

## あいさつ状の禁止

政治家は、選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などの時候のあいさつ状を出すことは禁止されています。

寄れる憩いの場所を確保したい。そこで、高齢者対策の一つとして、借り上げや家賃補助などについて伺いたい。

**答**

西上尾第二団地や原市団地の空き店舗の活用については、今後実情を把握し、高齢者対策の観点からどのような活用が可能なかなどについて検討するとともに、団地自治会や店舗を管理している都市再生機構との協議が必要になることから検討していきたい。

## 障害者(児)に優しい施策を

**問**

自立支援法が昨年成立し、本年の10月からは障害者に対応したサービス事業を進めていく中で、障害者の自立を支える制度となるためには、市が当事者の意見やニーズをどれだけ取り入れることができるかが、この制度のポイントとなる。そこで、今回の支援法で市が行う地域生活支援事業の今後の取り組みについて伺いたい。

**答**

地域生活支援事業は、必須事業としては、相談支援事業、移動支援事業、コミュニケーション支援事業、日常生活用具給付事業、地域活動支援センター事業の五つで、その他の事業では市が現在行っている事業の再編に

より位置付けられたもので、訪問入浴サービスや児童デイサービスなどである。

今後については、利用に対して、利用者の障害の状況に応じて必要なサービスが適切に利用できるよう留意し、利用者負担については、事業の内容や介護給付サービスとのバランスを配慮し設定するとともに、低所得者の軽減措置を図りたい。

## 出産費用の窓口払いを無くすには

**問**

今回の上尾市国民健康保険条例の一部改正に準じて、出産一時金の額を引き上げるとともに、本市における子育て支援策の一環として第2子以降の出産に係る支給額については、子育て家庭に配慮したものと評価したい。

そこで、出産費用を準備することとは、出産後市から出産一時金があるとしても大変であるため、出産育児一時金が市と医療機関との連携により窓口払いを無くすようにできるか伺いたい。

**答**

被保険者が出産した場合に、保険給付として世帯主に對して出産育児一時金が支給される。被保険者の負担の軽減を図られるように、この出産育児一時金を被保険者と医療機関の同意を

要件に被保険者に代わり医療機関が受け取る出産育児一時金受け取り代理制度について、今後医療機関と調整を図りながら実施していきたいと考えている。



保険年金課の窓口

## 都市整備

### ヒートアイランド現象の防止策は

**問**

保全樹林が毎年減少傾向にあるが、ヒートアイランド現象防止の役割を果たしている保全樹林の減少を食い止め、維持増やす対策について伺いたい。

**答**

市内の武蔵野の面影を残す樹林は、都市化により年々少なくなっている。このことから市では、指定樹木保存事業、指定樹林保存事業、ふれあいの森保存事業、藤波中分緑の景観地保

存事業、原市緑の景観地保存事業などにより、樹林の保全に努めているところである。また、樹木を増やす事業としては、丸山公園拡張用地にコナラ、クヌギ、カシの木などの植栽を行い、区画整理事業地内の公園予定地や児童館ごとの城に隣接する公園についても進ちょく状況を見ながら順次植栽の整備を行っている。昨年度から始めた桜オーナー制度による植樹や、新築された方に対する新築記念樹の配布などの事業を進めている。

## 上平地区の公共下水道整備計画は

**問**

上平地区の土地区画整理事業が予定されている地域と、集合住宅団地などにより市街地が形成されている市街化調整区域の公共下水道整備計画について伺いたい。

**答**

上平地区の公共下水道整備計画については、現在、上平第三、町谷第一土地区画整理事業地区及び上平第一地区において公共下水道事業を進めている。土地区画整理事業が予定されている町谷第二及び上平第二地区については、整備計画との整合を図り、その動向を見守りながら、地域の方々の要望を十分踏まえた上で、公共下水道の普及に向けて努力し

## 市道の整備問題は

**問**

市民の生活道路の傷みが全市的に広がってきていると感じており、古い舗装道路は特に亀裂が多く路肩から舗装面が欠け落ちている部分が多く見られる。

そこで、市道の整備状況について、パトロールはどのように実施されているのか。また、現状を踏まえ次年度以降道路路修繕費などの予算計画をどのように考えているのか伺いたい。

**答**

市道の整備状況については、本年8月に建設部の職員により市内全域を4ブロックに分け集中パトロールを行い、道路面の陥没および側溝等の構造物の欠損について確認し、簡易補修できるものはパトロール中に即時対

応した。

現在は、隔週水曜日を道路パトロールの日と決め、道路管理課と道路整備課の職員により実行している。また、集中豪雨後など市民の方からの情報があった場合にも、直ちに現場に向き内容を確認した後、適切な対応を行っている。

予算についても市民の安全・安心な生活に直結する道路であるので、適切な業務遂行のため確保をしていきたいと考えている。

### 市道の道路整備で3路線の経過と予定は

**問** 平塚の日星倉庫とトーハン上尾センターの交差点から県道上尾蓮田線に接続する市道30673号線の拡幅について、同交差点から中越バツケージ前の平塚団地入り口交差点までの市道30569号線の修繕について、日星倉庫出入口前の市道30674号線の舗装について、それぞれ経過と予定を伺いたい。

**答** 市道30673号線は、交通量も多く拡幅整備の要望が出されているが、現在のところ未整備である。743メートルと長い路線であり、市道と交差する区間などから段階的に対応していきたい。市道30569号線は、大型車両の通行が多く舗装のひび

割れなどが発生しているため、平成17年度から修繕工事に着手し、トーハンの交差点から約160メートルが完了。今年度は中ほどの120メートルを予定し、残りの170メートルは平成19年度に予定している。市道30674号線は、延長153・7メートルの砂利道で、現在、舗装工事を発注済みである。

### 第二産業道路の延伸は

**問** 第二産業道路の供用開始に伴い、県道上尾環状線の交通渋滞が激しくなることは明白である。そこで、上尾環状線以北の延伸計画について伺いたい。

**答** 第二産業道路は、県南地区を南北に縦断し、埼玉県と東京都を結ぶ動脈として、県において整備に取り組んでいるところである。整備状況については、



県道上尾環状線まで工事が進んだ第二産業道路

さいたま市側から本市に向って進めており、既に新幹線高架下までを昭和60年4月から供用開始をしているところである。また、平成2年度からは、新幹線高架下から県道上尾環状線までの1・4キロメートルの区間の整備に着手し、平成18年度内に供用開始の見通しと、なったところである。

第二産業道路は、本市の東側地区を南北に縦断し桶川市に向かう広域的な幹線道路であり、さいたま市蒲線のバイパス的な効果と県道上尾環状線の交通渋滞緩和を図る上で、県道上尾環状線以北の整備は必要不可欠であるため、第二産業道路建設促進期成同盟会を通じて、県に対して強く要望しているところである。

## 行財政一般

### 上尾村の町名変更にかかる現状と方向性は

**問** 平成14年に二ツ宮地区と向原地区それぞれに町名変更検討委員会が設置され、アンケートや署名活動を展開しているが市の対応を含めた現状と住民の合意形成など条件が整えば市として進めていくことは可能か伺いたい。

**答** 市としては住居表示や基盤整備を伴わない町名変更

の類例はないことから目安として地元住民の同意率90パーセント以上の確保を要請するとともに両地区の歩調も合わせてほしいとの考え方があった。二ツ宮地区はその後数回にわたり集まった同意書を市へ提出し、合意形成のための説明会を予定している。市としても説明会に出席し、行政の立場から助言と説明を行う予定である。向原地区については町名の名称の調整もあり、動向を見守るとともに飛び地の調整など区域確定に至るまでの課題がある。

また、市として町名変更を進めていくことについては、引き続き同意書を新しい住民からいただくなどの活動を続けていくことや登記簿の住所変更のほか運転免許証や各種営業許可証、クレジットカードなどの住所変更など自ら行う手続きも含めて漏れなく周知され、誤解のないよう地区全体の総意を醸成していくことが大変重要であることから、地元住民の意向の調整と周知が十分だった段階で進めていきたい。

### 広報の配布方法は

**問** 今の時代は多くの情報があふれ、多くの市民に確かな、正確な、そしてタイムリーな情報を提供することが極めて重要

である。そこで、事務区制度に頼らずに広報を全戸配布する方法を検討しているのか伺いたい。

**答** 事務区を経由せずに広報を全戸配布する方法として、新聞折込みによって配布する方法がある。この方法は、新聞を購読していない世帯に対する補完的な手段が必要になること、各種のチラシと一緒に折り込まれるため、不用意に廃棄されてしまうことが予想される。別の方法として、ポスティングにより配布する方法がある。具体的には、民間業者への委託やシルバー人材センターに依頼し、個別に配布する方法。また、事務区ごとに仮称広報連絡員を選出していただき、担当配布地区を明確にして戸別配布の体制を整備する方法などが考えられる。

広報活動は、市民生活に必要な行政情報をお知らせすることは言うまでもなく、市民と行政が同じ基盤に立つてまちづくりを進めるための前提として、市に関する情報を広く提供するものと認識しており、広報の配布方法について今後も研究していきたい。

### 声の議会だより

視覚障害の人に対し、カセットテープ版の市議会だよりを発行しています。希望される人は、議会事務局までご連絡ください。

→議会事務局 (☎775-9467)

傍聴席からひとこと

クールビズが新鮮だった

今回が議会を傍聴するのは初めてです。傍聴の理由は、支援している議員さんから紹介されたのが動機です。



しみずひろゆき  
清水廣介さん  
(東町)

傍聴してみても議員さん方や市職員がともどもクールビズの軽装で出席されており、新鮮に感じました。また、議員さんの出席率がたいへんいいのにも感心しました。

上尾市に定住して18年、定職を辞して5年、地域との生活が密着し、お世話になりながら健康に過ごしております。地域の発展を祈念します。

地域を見直す機会になった



たかさわ せつこ  
高沢せつ子さん  
(柏座)

傍聴は3回目です。今回は夫婦で来ました。議員さんが、防犯パトロールのことについて質問されていましたが、私は以前に何年か市の補導員をさせていたっていました。常に子どもたちの安全を守るために大人は考えていかなければと思っています。

市側の答弁でも子どもの安全を見守る目を増やすことがいろいろな犯罪を減らすことになると言っていました。

今回議会を傍聴し、改めて地域を見直すよい機会になったと思います。

**\* 次回の12月定例会は、  
12月4日に開会の予定です。**

請願、陳情、要望の提出期限は、11月28日(火)までとなります。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

なお、上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継を行っております。

上尾市議会ホームページアドレス  
<http://www.city.ageo.lg.jp/shigikai/>

～議会報編集委員～

畠山 稔、児玉 晋、清水 義憲、  
島村 穰、深山 孝、鴨田 幸子、  
秋山かほる、遠藤 朝子

—「議会だより」は再生紙を使用しています—

委員会活動

H18.7.16 H18.10.15



鴨川小学校大規模改造工事箇所などを現地調査する文教経済常任委員会



建設水道常任委員会の審議の様子▶

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	9.6	●9月定例会提出議案12件、請願1件を審査
文教経済常任委員会	9.7	●鴨川小学校の大規模改造工事箇所などを現地調査後、9月定例会提出議案1件を審査
建設水道常任委員会	9.6	●9月定例会提出議案4件を審査
福祉消防常任委員会	9.7	●9月定例会提出議案12件を審査
議会運営委員会		●議会運営について協議(協議回数3回)
決算特別委員会	9.5	●正・副委員長の互選及び審査方針の決定
	9.27	●一般会計のうち歳入及び歳出(総務関係)について審査
	10.5	●一般会計のうち歳出(福消、文経関係)について審査
	10.6	●一般会計のうち歳出(文経、建設関係)について審査
	10.10 10.11	●財産に関する調書、特別会計について審査 ●水道事業会計について審査、総括
議会報編集委員会	7.18	●「あげお議会だより 134」の内容について協議
	9.13	●「あげお議会だより 135」の内容について協議

意見書4件を原案可決

9月定例会最終日の20日、議員提出議案として意見書5件を提出し、4件を可決、1件を否決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

ドクターヘリの全国配備へ新法制定を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長

地方交付税の制度堅持と総額確保を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長  
アナログ波停止後も今のテレビチューナーの取替えで使用できることの周知の徹底を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長

公共工事における建設労働者の適正な労働条件確保に関する意見書

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長